

水産庁

プレスリリース

平成23年6月9日
水産庁

「2011年度 第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(沖合調査)」の開始について

「第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(沖合調査)」を開始します。

1.調査の目的と内容

鯨類の摂餌生態、生態系における役割の解明、鯨類及び海洋生態系における海洋汚染の影響の把握及び鯨類の系群構造の解明のため、「第二期北西太平洋鯨類捕獲調査計画」に基づき、鯨類捕獲調査(沖合調査)を実施します。

2.調査期間等

- 調査期間 平成23年6月11日(土曜日)から8月下旬
- 調査実施機関 財団法人 日本鯨類研究所
- 調査海域 北西太平洋沖合海域

3.捕獲頭数

ミンククジラ 100頭
イワシクジラ 100頭
ニタリクジラ 50頭
マッコウクジラ 10頭

4.出港予定

- 平成23年6月11日(土曜日)土生港(広島県)
調査母船「日新丸」(8,044トン 江口浩司船長以下116名)
9時30分出港予定
- 平成23年6月11日(土曜日)下関港(山口県)
目視採集船「勇新丸」(720トン 佐々木安昭船長以下21名)
目視採集船「第二勇新丸」(747トン 三浦敏行船長以下21名)
11時00分出港予定

5.北西太平洋における鯨類の資源量推定値(参考)

ミンククジラ	約25,000頭
イワシクジラ	約28,500頭(東太平洋を除く)
ニタリクジラ	約25,000頭
マッコウクジラ	約102,000頭

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 捕鯨班 松尾、川村、竹越
代表:03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン:03-3502-2443
FAX:03-3591-5824

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁